

前回審議のふりかえり

- 札幌駅交通ターミナルの整備の方針
- 今後の検討課題とスケジュール

札幌駅交通ターミナルの整備の方針

国土交通省
札幌市

札幌駅周辺の基盤整備・まちづくりについては、平成 30 年 9 月、札幌市が『札幌駅交流拠点まちづくり計画』を策定し、また、昨年 10 月には、市民の皆様のご意見も広く取り入れながら、『札幌駅交流拠点 北 5 西 1・西 2 地区再開発基本構想』を策定し、まちや経済の活性化、国際競争力の向上を目指しています。

このたび、これら計画や構想を踏まえ、国土交通省と札幌市は、北海道新幹線と高速バスが直結するバスターミナルの高機能化の実現に向け、「札幌駅交通ターミナルの整備の方針」を取りまとめました。

1. 北海道新幹線と高速バスが直結するバスターミナルの整備

- ・北海道新幹線札幌駅と直結するとともに、駅周辺に分散する都市間・都市内バス乗降場等の集約や、都心アクセス道路との連携強化により、モーダルコネクト機能の強化を図ります。これにより、全道に効果を波及させ、食と観光で全国に貢献する「生産空間」を支えます。

2. 新たなバスターミナルは、あわせて、以下の機能強化についても検討を進めます。

(1) 観光機能の強化

- ・わかりやすい案内やシームレスな移動を実現し、利用者の利便性・回遊性を向上させ、ICT を活用した観光 MaaS も導入しながら、インバウンドを含めた観光機能の強化を図ります。

(2) 防災機能の強化

- ・帰宅困難者の受け入れ空間や災害時の情報提供機能を確保するなど、防災機能の強化を図ります。

(3) 多様なモビリティとの連携

- ・シェアサイクルや新たなモビリティ等、多様な交通と連携し、移動利便性や回遊性向上を図ります。

3. 官民連携による計画の具体化

- ・本整備方針に基づき、民間事業者等の知見を広く取り入れながら、官民連携で計画の具体化を図ります。

札幌駅交通ターミナルの整備の方針

ポテンシャル

- 北海道新幹線の札幌延伸 [2030年度末]
- 冬季五輪の招致 [2030年]
- 都心アクセス道路(創成川通の機能強化)の検討



提供:JR北海道

課題

- 都市間・都市内バス乗降場の分散
- 国道5号を含む面的な交通混雑
- 災害時の交通と受入空間の確保



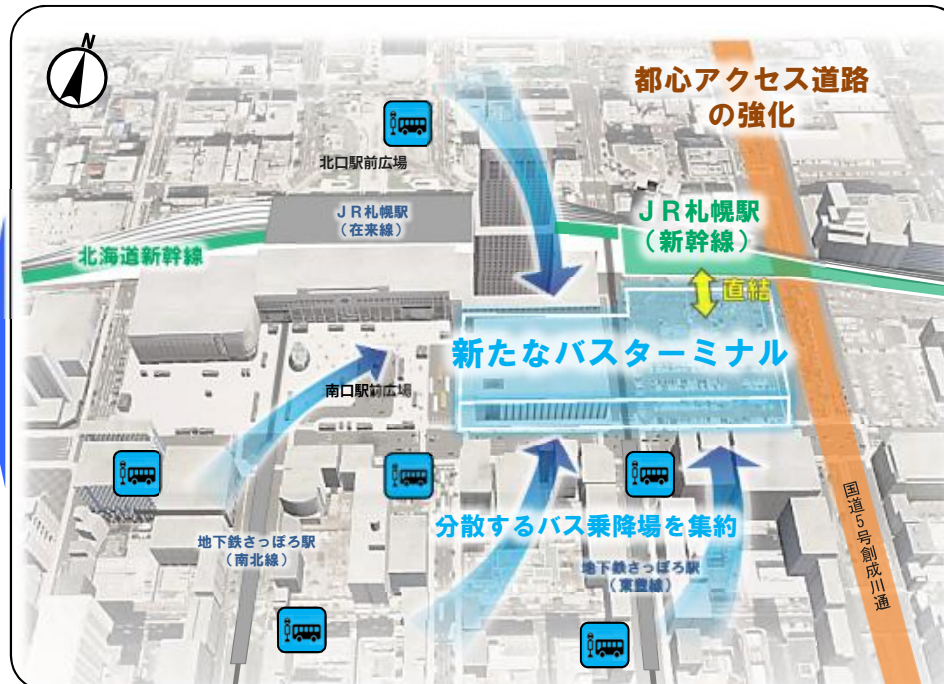
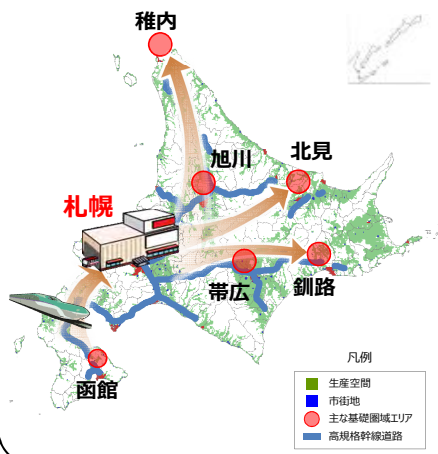
北海道胆振東部地震時の状況
(札幌駅地下歩行空間)

世界とのゲートウェイ・札幌

『北海道新幹線と高速バスが直結するバスターミナルの整備』

～全道に効果を波及させ、食と観光で全国に貢献する「生産空間」を支えます～

高速道路と連携した全道各地へインバウンド観光等の新たな人流を創出



① 観光機能の強化

- ・ インバウンドを含む観光案内所の設置
- ・ 観光MaaSの導入
- 等

② 防災機能の強化

- ・ 帰宅困難者等の受入空間
- ・ 情報提供施設の整備
- 等

③ 多様なモビリティとの連携

- ・ シェアサイクル
- ・ 新たなモビリティ
- 等

《今後の検討課題》

① 施設計画の検討

札幌駅周辺の価値を高める道都の「顔」としてのトータルデザイン
北海道新幹線札幌延伸以降の時代の変化にも柔軟に対応する構造と配置計画

② 機能・運営の検討

交通結節点・観光・防災の各機能の強化
多様なモビリティとの連携
運営・維持管理の委託を前提とした「稼げる」空間の実現

③ 事業制度の検討

都市計画法や道路法をはじめとした法令上の位置づけの整理
将来的な運営・維持管理を念頭に収益を考慮した事業スキーム

④ 施工計画の検討

北海道新幹線札幌延伸や招致活動予定の札幌冬季五輪等を見据えた施工スケジュール
施工期間中のバス停配置等、札幌駅周辺への影響を考慮した施工ステップ

今後の検討課題とスケジュール

《今後のスケジュール》

